

2016年度

株 主 通 信

2016年1月1日～2016年12月31日

BUSINESS REPORT 2016

すべての革新は患者さんのために

中外製薬株式会社

証券コード 4519

ごあいさつ



左：会長 永山 治 右：社長 小坂 達朗

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2016年度の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2017年3月

代表取締役会長
最高経営責任者

永山 治

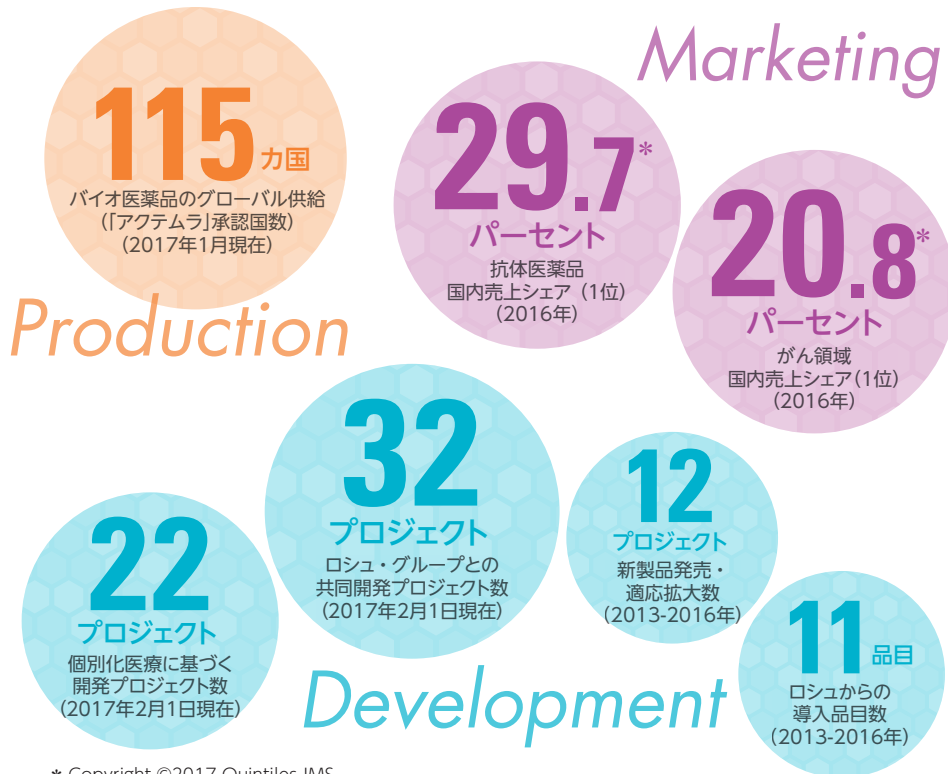
代表取締役社長
最高執行責任者

小坂 達朗

目次

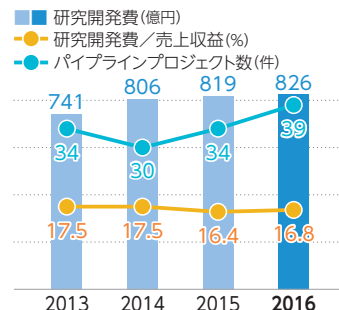
ごあいさつ	1	株主様アンケート 集計結果のご報告	7
数字で見る中外製薬 2016年度	2	くすりのはなし	9
マネジメントメッセージ	3	株主インフォメーション	10
特集 中期経営計画 進捗について	5	会社の概況／株式の概況	裏表紙

数字で見る中外製薬 2016年度

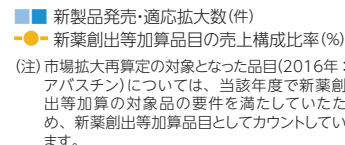


研究開発ハイライト(Core実績)

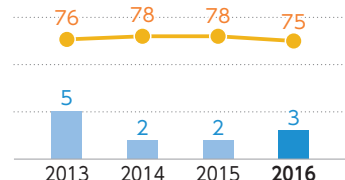
研究開発費／研究開発費比率／ パイプラインプロジェクト数



新製品発売・適応拡大数／ 新薬創出等加算品目の売上構成比率



(注) 市場拡大再算定の対象となった品目(2016年：アバスタチン)については、当該年度で新薬創出等加算の対象品目の要件を満たしていたため、新薬創出等加算品目としてカウントしていません。

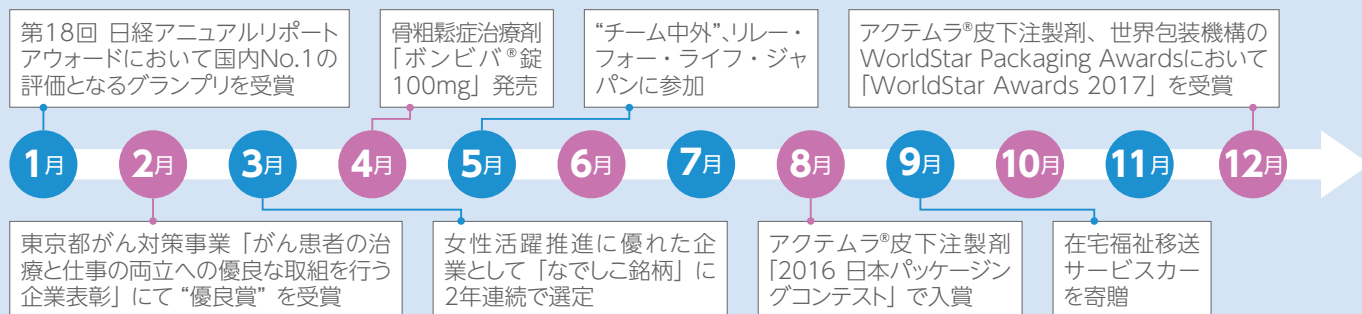


* Copyright ©2017 Quintiles IMS.

出典：IMS 医薬品市場統計 2016年12月MATをもとに作成

無断複製・複写禁止 市場の範囲は中外製薬定義による

2016年度 トピックス



飛躍的成長の実現に向けて 事業基盤を強化

代表取締役会長 最高経営責任者

永 山 治



製商品売上高は薬価改定の影響を吸収 連結業績全体では減収・減益

2016年度の営業状況は、製商品売上高が全体でプラス成長を維持したものの、ロイヤリティ及びその他の営業収入が減少しました。その結果、連結業績（Core実績^{*1}、以下同）は、売上収益4,918億円（前年同期比1.4%減）、営業利益806億円（同11.1%減）、当期利益568億円（同12.5%減）となりました。

国内製商品（「タミフル」を除く）の売上高は、がん領域と骨・

関節領域における新製品や主力品の順調な成長が薬価改定の影響等を吸収し、3,797億円（同0.4%増）となりました。なお「タミフル」の売上高は135億円（同64.6%増）となりました。

海外製商品の売上高は、「アクテムラ」の輸出価格の低下や、「ノイトロジン」の為替影響と競合激化による売上減少により、795億円（同3.3%減）となりました。

ロイヤリティ及びその他の営業収入は、マイルストーン収入^{*2}等の一時的な収入が減少したことから、191億円（同37.2%減）となりました。

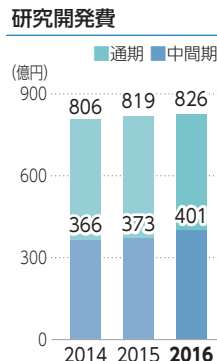
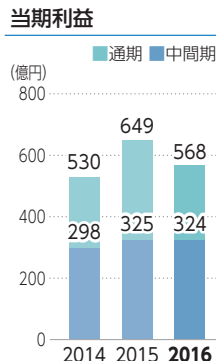
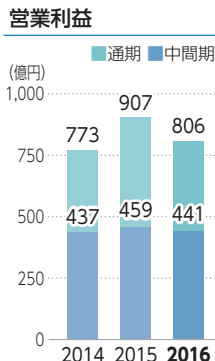
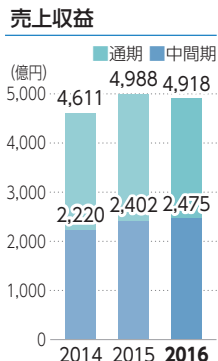
Core実績連結財務ハイライト（2016年1月1日～2016年12月31日）

売上収益 4,918億円
（前年同期比 1.4%減）

営業利益 806億円
（前年同期比 11.1%減）

当期利益 568億円
（前年同期比 12.5%減）

研究開発費 826億円
（前年同期比 0.9%増）



2017年度は増収・増益を予想

3つの重点方針を掲げ、取り組みを加速

3か年中期経営計画「IBI 18」の初年度となった2016年度は、「アレセンサ」「アクテムラ」が米国食品医薬品局(FDA)からブレイクスルーセラピー^{※3}の指定を受け、また将来の最重要成長ドライバー候補の開発も着実に進展するなど、研究開発面において大きな成果を挙げることができました。

さらに、研究開発の中核的拠点の整備に向けた事業用地(横浜市戸塚区)の購入契約や、大阪大学免疫学フロンティア研究センター(IFReC)との包括連携契約を締結するなど、将来の成長に向けた投資を実施しました。

「IBI 18」2年目となる2017年度は、「グローバル・国内成長ドライバーへの集中」「抗体改変プロジェクト^{※4}の創出と中分子技術^{※5}の開発」「ソリューション提供体制改革の実行」の3つを重点方針に掲げ、取り組みを加速していきます。

連結業績については、国内製商品におけるがん領域、骨・関節領域の順調な伸長と、海外製商品における新製品の成長等が見込まれ、ロイヤルティ及びその他の営業収入も増加する見通しであることから、別表のとおり増収・増益を予想しています。

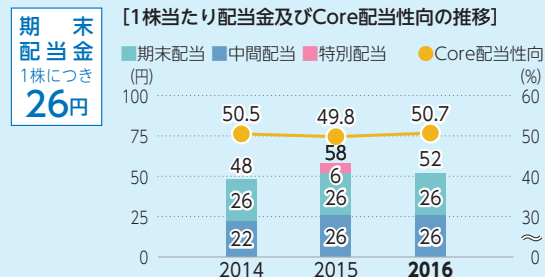
株主の皆様におかれましては、引き続き当社事業への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

用語解説

- ※1 **Core実績**…当社事業の核(コア)である医薬品事業から発生する経常的な収益性を管理するための指標。IFRS(国際会計基準)実績から、当社が非経常的と捉える事象に係る損益等を除いたもの。
- ※2 **マイルストーン収入**…知的財産のライセンス先企業等から支払われ、契約内容に応じて生じる一時的な収入。
- ※3 **ブレイクスルーセラピー**…重篤または致命的な疾患や症状を治療する薬の開発及び審査を促進することを目的に米国食品医薬品局(FDA)が2012年7月に導入した制度によって指定された開発品。
- ※4 **抗体改変プロジェクト**…通常の抗体では達成できない医療上のメリットを提供することが期待される、中外製薬独自の抗体技術を適用したプロジェクト。
- ※5 **中分子技術**…抗体や低分子では狙うことが困難な病気の原因に対してもアプローチできる、今後大きく期待される技術。

2016年12月期期末配当について

戦略的な投資資金需要や業績見通しを勘案したうえで、Core EPS対比平均して50%の配当性向を目処に、株主の皆様へ安定的な配当を行うことを目標といたします。2017年3月23日開催の株主総会において、期末配当の実施につき、次のとおり決議いたしました。



2017年12月期の予想 (Core ベース)

科 目	2017年1-12月 (億円)
売上収益	5,205
製商品売上高	4,904
ロイヤルティ及びその他の営業収入	300
売上原価	△2,520
売上総利益	2,685
経費計	△1,765
営業利益	920
EPS(=1株当たり当期利益) (円)	124.11

配当予想

中 間	期 末
29円	29円



トップ製薬 企業への 変革を推進

「IBI 18」初年度の取り組みと成果

3か年中期経営計画「IBI 18」の始動により、着実な利益の確保に努めつつ、今後の成長に向けた取り組みを積極的に推進した2016年。計画初年度の主要な成果をご報告します。

重点テーマ

- グローバルトップクラスの競争力獲得・発揮
- 成長加速への選択と集中

「ボンビバ錠」発売

骨粗鬆症を効能・効果として先行発売している「ボンビバ 静注1mgシリンジ」に続き、「ボンビバ錠100mg」を4月に発売いたしました。患者さんの状況に合わせて二つの投与経路を選択することが可能となり、骨粗鬆症治療への大きな貢献が期待されております。



ボンビバ錠100mg

「アレセンサ」「アクテムラ」 ブレイクスルーセラピーに指定

10月には、「アレセンサ」ALK陽性非小細胞肺癌の一次治療と、「アクテムラ」巨細胞性動脈炎の2プロジェクトが米国食品医薬品局(FDA)からブレイクスルーセラピー(画期的治療薬)に指定されました。

これにより、当社創製品に対するブレイクスルーセラピーの指定は3製品5プロジェクトに達し、国内企業ではトップの製品数となっております。これは当社の創薬技術がグローバルトップレベルにあることの一つの証左と捉えております。



アレセンサ

アクテムラ

成長ドライバー候補の開発進展及び導出

研究開発プロジェクトにおいては、ロシュの免疫チェックポイント阻害剤「アテゾリズマブ」の13本の第Ⅲ相国際共同治験が進み、「エミシズマブ」が血友病A・インヒビター保有患者を対象とした第Ⅲ相国際共同治験にて主要評価項目を達成するなど、将来の最重要成長ドライバー候補の開発を着実に進展させました。導出実績では、当社独自の抗体改変技術により創製した視神経脊髄炎を予定適応症とする「SA237」についてロシュとのライセンス契約を締結し、また皮膚疾患領域の新規生物学的製剤「CIM331 (nemolizumab)」について、国内ではマルホ株式会社、海外ではスイス・ガルデルマ社とのライセンス契約を締結いたしました。

研究開発拠点の整備に向けて事業用地を取得

将来に向けた成長投資の一環として、株式会社日立製作所が横浜市に所有する事業用地について購入契約を締結いたしました。今後、取得用地の活用により研究開発の中核的拠点を整備し、トップ製薬企業に求められる革新的医薬品の連続創出につなげてまいります。

免疫学研究に関する包括的連携契約を締結

世界トップクラスの研究者が集結し革新的な免疫学研究を遂行する「大阪大学免疫学フロンティア研究センター (IFReC)」と 包括連携契約を締結いたしました。この包括連携により、当社独自の創薬技術と、IFReCの研究成果が交わり、革新的医薬品の創製が期待されます。



2016年5月19日契約締結

2017年度の取り組み

「IBI 18」の2年目となる2017年度は、「収益源としての国内売上」と「成長源としての自社創製品の海外展開」の2つの充実を図り、将来の飛躍的な成長実現への基盤を強化していきます。

2017年度の重点方針

- 収益源としての国内売上、成長源としての自社創製品の海外展開
- 二本柱の充実により将来の飛躍的な成長実現に向けた基盤を強化

国内【収益源】

海外【成長源】

グローバル・国内成長ドライバーへの集中

抗体改変プロジェクトの創出と中分子技術の開発

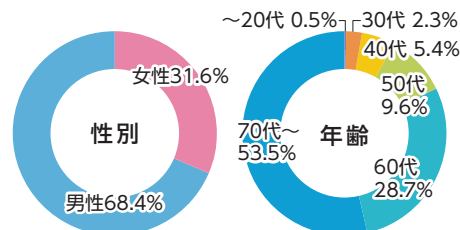
ソリューション提供体制改革の実行

株主様アンケート 集計結果のご報告

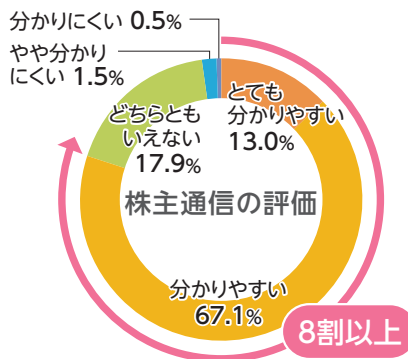
2016年度中間期 株主通信に同封させていただいたアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

いただきましたご意見の一部をご紹介します。皆様からの貴重なご意見を活かし、IR活動の更なる充実に努めてまいります。

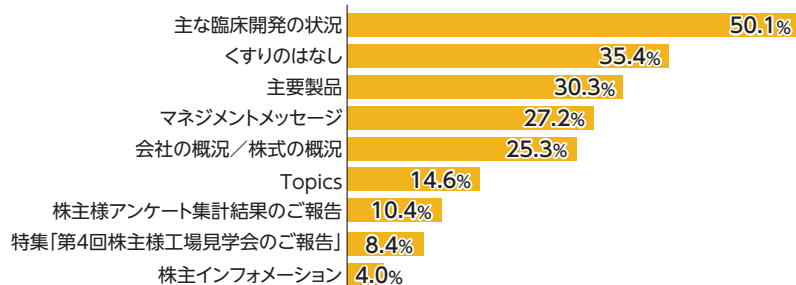
▶ 実施期間：2016年8月31日～9月30日 ▶ 返信数：2,133通



株主通信について



株主通信で興味を持った記事(複数回答)



いただいたご意見・ご感想

株主様からの
ご意見

工場見学会に毎回
応募しても当たらない。

毎回のご応募をありがとうございます。抽選に関しては、厳正且つ公正に行なっております。当社工場とお住まいの地域との距離による制約等はございません。実際に、東北、中国、四国、九州地方の方々も参加されました。当選倍率は約10倍ですが、諦めずに引き続きご応募ください。お待ちしております。

Answer

株主様からの
ご意見

ダイバーシティの
状況について知りたい。

当社のダイバーシティにご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。2010年にワーキングチームを発足してから継続的にダイバーシティ推進に取り組んでおり、2015年、2016年と2年連続で「なでしこ銘柄」に選定されました。多様性が組織の活性化とビジネス成果に寄与するよう、今後も取り組みを進めてまいります。詳細は、当社のウェブサイトをご覧ください。

>>> <https://www.chugai-pharm.co.jp/csr/diversity/index.html>

Answer



関東以外に居住しているので株主総会や株主向け工場見学会に参加できません。関東以外での開催はないのでしょうか。

**株主の皆様の
疑問に
お答えします！**

アンケートにて株主の皆様から多く寄せられた疑問・質問にお答えします。



A 当社の株主総会については、定款上、「株主総会は東京都区内において招集する」（第14条第3項）としているため、東京都区内以外で開催することはできません。株主総会にお越しいただけない株主様の議決権行使は、議決権行使書による書面行使やインターネット行使の方法をご用意しております。また、株主総会における資料映像や質疑応答の様子については、総会後の4月中旬より当社 Web サイトにて動画を配信しておりますので、是非そちらをご覧ください。また、ご好評いただいております工場見学会は、当社の生産子会社である中外製薬工業には宇都宮工場（栃木県）、浮間工場（東京都）、藤枝工場（静岡県）の3工場がありますので、見学会の実施はこれらのいずれかで検討することになります。

第5回 | 株主様工場見学会のご案内

詳細は同封した「『株主様工場見学会』開催のご案内」をご覧ください。

中外製薬の事業内容についてご理解をより深めていただくために、株主様工場見学会を開催いたします。

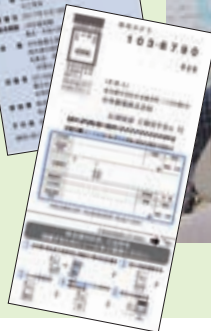
見学会の概要

開催日：2017年5月18日(木)

見学場所：中外製薬工業株式会社
宇都宮工場

応募締切：2017年4月7日(金)必着

*誠に勝手ながら「抽選」とさせていただきます。
厳正な抽選のうえ、4月下旬に当選または落選の通知を発送いたします。



前回の見学会の様子



1万ℓのタンク



くすりのはなし 12

日常生活の中でお役に立つ“くすりのはなし”。今回は、子どもにくすりを飲ませる時についてのおはなしです。



詳しくはホームページをご覧ください

中外製薬 からだとくすりのはなし

検索

子どもにくすりを飲ませる時

子どもと大人の違い

子どもは心身共に発育途上にあり、生体機能が日々著しく変化しています。薬に対する反応も年齢や体重などによって異なるほか、個人差も大きい時期です。薬を分解したり排泄したりする能力が大人より弱いため、薬の影響を受けやすい傾向があります。

ご家庭で子どもが急に熱を出した場合などでも、大人用の薬を減量して飲ませることをしてはいけません。単純に量を減らせばよいというわけではなく、薬の成分や体内での吸収のされ方によっては、危険を伴う場合がありますので必ず医師・薬剤師に相談しましょう。

たとえば、アスピリンは解熱鎮静剤としてよく使われている薬ですが、子どもがはしかやインフルエンザなどにかかっている場合に使用すると「ライ症候群※」という病気にかかりやすくなるおそれがあります。そのため子どもに使用することは禁じられています。



※ライ症候群とは：主に子どもがウイルス性疾患にかかった後、激しい嘔吐や意識障害、けいれんと肝機能障害などが現れ、場合によっては死に至ることがあります。

乳児期のくすりの飲ませ方

- **くすりをミルクに混ぜて飲ませるのはやめましょう**…ミルクの成分によっては、薬が効かなくなったり、ミルクを飲み残すことで薬を全量飲ませられないこともあります。また、ミルクの味が変わってしまうことでミルク嫌いの原因になる場合もあります。
- **泣いていやがっている時にむりやり飲ませてはいけません**…気管に入ってしまう、呼吸困難におちいることがあります。
- **授乳後など満腹で飲まないことがあります**…薬によっては、空腹時や食前に飲ませることが可能な場合もあるので、医師・薬剤師に相談しましょう。
- **シロップ製剤の飲ませ方**…ほ乳瓶の乳首の中に入れて吸わせるか、小さなスプーンやスポイトで舌の上のせ、飲ませましょう。

- **粉ぐすりの飲ませ方**…少量の水か白湯で粉薬を練って、だんご状にして上あごにこすりつけます。その後に水、白湯を飲ませましょう。



幼児期のくすりの飲ませ方

- **まずしっかりと飲ませてあげること**…特に1~3才は薬に対して最も抵抗感がある時期といわれています。いつも飲んだり食べたりしているものと違うので、警戒して薬を嫌がったり、吐き出してしまったりすることがあります。基本的には水か白湯で飲まないときはジュースやシロップに混ぜるのも一つの方法です。ただし一緒に服用すると薬が効かなくなる場合もあるので、あらかじめ医師や薬剤師に相談しましょう。
- **シロップ製剤の飲ませ方**…瓶から直接飲ませると、むせたり唾液で薬を汚染させる原因になります。一回分を別の容器に取り、スプーンやスポイトで飲ませましょう。シロップは甘くて飲みやすいので、子どもが勝手に飲まないよう注意が必要です。
- **粉ぐすりの飲ませ方**…水や白湯で溶いてスプーンで少しずつ飲ませましょう。
- **錠剤、カプセル剤の飲ませ方**…食道につかえないようにあらかじめ水を含ませましょう。
- **嚥下（えんげ）補助ゼリー**…粉薬、錠剤、カプセル剤などは嚥下補助ゼリーを使うと飲ませやすくなる場合もありますので、医師・薬剤師に相談しましょう。（嚥下とは口の中に入れたものを飲み込むことです。）
- **坐薬の使い方**…水やサラダ油で濡らすと痛みが少なくスムーズに挿入できます。できるだけ排便を済ませてから挿入し、薬が外に出てしまわないよう1~2分押さえておきましょう。



くすりを誤って飲んだら

慌てずに、状況の確認（何を何時に、どのくらい飲んだか）を正確に行ってください。その後、一刻も早く医院・病院へ連れて行きましょう。

株主インフォメーション



今後のIRスケジュール
(2017年)

4月下旬

● 第1四半期決算発表

7月下旬

● 第2四半期決算発表

ウェブサイトのご案内 >>> <https://www.chugai-pharm.co.jp/>

中外製薬

検索



株主・投資家向け情報

最新のIR情報は
こちらから

● CSR活動

中外製薬の
CSR活動は
こちらから

● 病気とくすりに関する情報や中外製薬が取り組む活動をご紹介します。



● 新製品開発状況

最新の開発パイプ
ラインはこちらから

株主総会
→ オンデマンド
動画配信

株主総会のオンデ
マンド動画配信は
こちらから

中外製薬が
よく分かるストーリー

中外製薬のことを3つ
のステップでわかりやす
くご紹介しています。



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
配当金	期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日 中間配当金受領株主確定日 毎年 6月30日
公告	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 (同連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京

単元未満株式
買取・買増請求制度
のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位(1単元)となっておりますため、単元未満株式(100株未満)を市場で売買することはできません。このため、当社では「単元未満株式買取・買増制度」をご用意しております。単元未満株式をご所有の株主様は、是非買取・買増制度のご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。なお、お手続きはお取引先の証券会社または三菱UFJ信託銀行(TEL.0120-232-711)にお申し出ください。

会社の概況／株式の概況 (2016年12月31日現在)

会社概要

会 社 設 立 1943年 (昭和18年) 3月8日
創 業 1925年 (大正14年) 3月10日
資 本 金 72,966,825,723円
従 業 員 数 7,245名 (連結)
本 店 東京都北区浮間五丁目 5 番 1 号
本 社 事 務 所 東京都中央区日本橋室町二丁目 1 番 1 号

役員 (2017年3月23日現在)

取締役

代表取締役会長 永山 治
代表取締役副会長 上野 幹夫
代表取締役社長 小坂 達朗
取締役上席執行役員 板谷 嘉夫
社 外 取 締 役 池田 康夫
社 外 取 締 役 奥 正之
社 外 取 締 役 一丸 陽一郎
取 締 役 グリストフ・フランツ
取 締 役 ダニエル・オデイ
取 締 役 ソフィー・コルノウスキー・ボネ

監査役

常 勤 監 査 役 横山 俊二
常 勤 監 査 役 富樫 守
社 外 監 査 役 原 壽
社 外 監 査 役 二村 隆章

株式状況

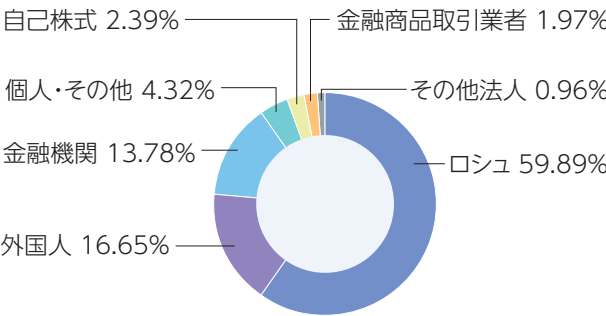
発行可能株式総数 799,805,050株
発行済株式の総数 559,685,889株
株主数 27,079名

大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
ROCHE HOLDING LTD	335,223	61.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,271	4.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,540	3.39
JP MORGAN CHASE BANK 385147	14,288	2.61
JP MORGAN CHASE BANK 380055	4,920	0.90
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,476	0.81
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	4,045	0.74
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,761	0.68
中外製薬社員持株会	3,158	0.57
住友生命保険相互会社	3,000	0.54

※当社は自己株式13,417千株を所有しておりますが、上記の大株主 (上位10名) の中には含めておりません。
※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式の数を控除して計算しております。

株式分布状況



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



用紙は、FSC®森林認証紙を使用しています。インキはVOC(揮発性有機化合物)が1%未満のノンVOCインキを使用しています。印刷は有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷を採用しています。



すべての革新は患者さんのために



中外製薬株式会社

Roche ロシュ グループ

〒 103-8324 東京都中央区日本橋室町 2-1-1
TEL.03 (3281) 6611 (代表)